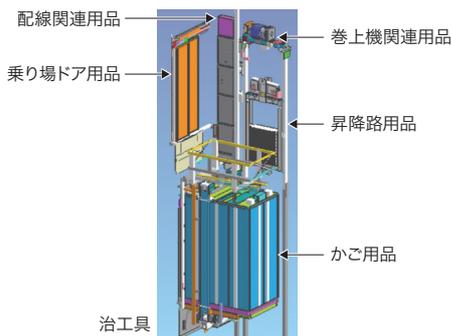


標準形エレベーター SPACELの標準据付工期短縮



SPACELの構成
SPACEL standard elevator structure

エレベーター部位	改善項目数	工数削減率 (%)
巻上機関連用品	5	0.8
乗り場ドア用品	4	0.7
昇降路用品	24	2.2
配線関連用品	14	1.5
かご用品	6	0.4
治工具	5	0.5
合計	58	6.1

エレベーター部位ごとの改善項目数と工数削減率
Number of improvements implemented for each elevator component and resulting workload reduction

近年、建設現場における労働力不足は、昇降機業界においても深刻な問題となっている。そこで、出荷台数の大多数を占める標準型エレベーター“SPACEL”に対し、据付工期の短縮を目的とし、現場作業のエスノグラフィー（行動観察）を通じた作業の要改善点の抽出や、工事関係者からのアンケートによる現地作業に付帯する業務課題を洗い出し、合計58項目について改善を実施した。

更に、ベテランと若手の作業員間で作業時間に差が生じる工程を特定し、効率的な手順をマニュアル化することで作業のばらつきを低減した。これらにより、約半年間でSPACELの標準据付工期を約6%短縮し、年間据付消化台数の増加に寄与する製品を上市した。また、国内における新設需要が横ばいで推移する中、今後増加が見込まれるリニューアル需要への現場人材のシフトも可能となった。

今後も、当社ミッションの「安全・安心の、その先にある笑顔の実現へ。」の下、継続的に据付工期短縮を実現する製品を開発・上市し、顧客満足の実現に貢献する。

東芝エレベータ (株)

エレベーター内の行き先階ボタンを不要にするFLOORNAVIを赤坂トラストタワーに納入



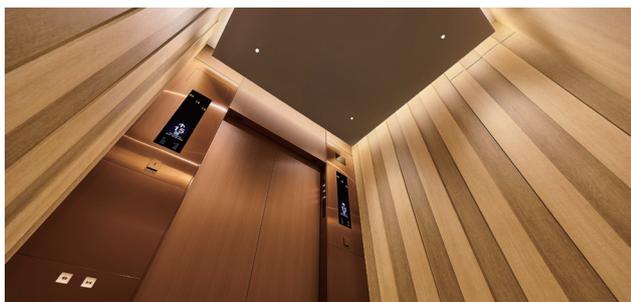
赤坂トラストタワー
Akasaka Trust Tower mixed-use skyscraper

建物の付加価値及びテナントへの訴求力を向上したい顧客の要望を受け、乗り場行き先階登録システムFLOORNAVIを赤坂トラストタワー^(注)に納入した。FLOORNAVIは、エレベーター乗車前に行き先階を登録することで利用者を目的階に案内でき、エレベーター内の行き先階ボタン操作を不要にして利便性を向上する。

行き先階登録は、複数階に入居するテナントを想定し、あらかじめカードに記録された階を認識できるセキュリティーゲートからの信号と連携し、登録する方法を自動/手動とで変える装置を設けた。また、乗り場行き先階登録装置は、建物のデザインに調和した画面構成とボタン配置に変更し、更にタッチパネルを採用することで、視認性と操作性を向上させた。利用者には、行き先階登録時に案内表示されたエレベーターに乗りしてもらふことになるため、建物内の動線と照らし合わせながらシナリオを作成することで、無理のない運用となる仕様を決め、納入した。

(注) 森トラスト (株) と NTT 都市開発 (株) が東京都港区で開発を推進した施設。

東芝エレベータ (株)



エレベーターかご室
Elevator cabin